



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

1963年3月23日創立 週報2422号

第2730地区 鹿児島西ロータリー・クラブ

第 2469 回例会

9 月は新世代のための月間

平成25年9月4日

● 例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館7階 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30
● 事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館9階 ☎ 223-5902・FAX 223-7507

会長 長柄 英男
幹事 坂木 貞剛
会報委員長 上之園正幸

本日の主要
プログラム

クラブフォーラム (新世代)

- (1) 国歌斉唱・ロータリーソング (奉仕の理想)
- (2) 会長あいさつ
- (3) ゲスト・ビジター紹介
- (4) 会務報告
- (5) 出席報告
- (6) ニコニコBOX披露

会長挨拶 長柄 英男 救命の連鎖

心停止を来した傷病者を救命し、社会復帰させるためには「救命の連鎖」が迅速に繋がることが不可欠です。今回は4つの輪について詳しく説明します。

1つ目の輪：心停止の予防

成人の突然死の原因には急性心筋梗塞や脳卒中があります。これらは癌とともに日本人の三大死因です。成人の突然死の予防には生活習慣病の予防が重要ですが、急性心筋梗塞の胸痛や脳卒中の初期の軽い運動麻痺などに早く気づくこと、さらに気づいたら躊躇せずに119番通報することが重要です。医療機関に早期に到着することが心停止を予防し、命を助け、社会復帰を早めます。

2つ目の輪：心停止の早期認識と通報

突然倒れた人や反応のない人を見たらただちに心停止を疑うことが第一歩です。呼びかけに反応がないときは大声で叫んで応援を呼び、119番通報を行う、AEDや救急隊ができるだけ早く到着するように努めましょう。一人で対処することは慣れた医療従事者でも困難です。

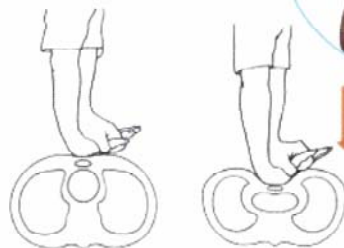
3つ目の輪：一次救命処置(心肺蘇生とAED)

止まった心臓と呼吸を補助することです。心臓が止まると15秒以内に意識がなくなり3~4分以上心臓が止まったままの状態が続くと脳の回復は困難になります。心臓が止まっている間、心肺蘇生によって心臓や脳などに血液を送りつづけることはAEDによる心拍再開の効果を高め、脳に後遺症を残さないためにも重要です。心肺蘇生には胸骨圧迫(心臓マッサージ)と人工呼吸を組み合わせることが原則

ですが、効果的に行うためには講習を受け技術を習得しておくことが必要です。訓練を受けていない場合でも胸骨圧迫だけを行うことが推奨されています。

突然の心停止は心臓(心室)が細かくふるえる「心室細動」が多く、AEDは自動的に心電図を解析し電気ショックが必要かどうかを決定し、音声メッセージで指示するので、操作は難しくありません。AEDは訓練を受けていなくても容易に使用することができます。意識がなく心停止の疑いのある人を見たら躊躇することなくAEDを装着することが極めて重要です。

4つ目の輪：二次救命処置と心拍再開後の集中治療
救急救命士は一次救命処置と薬剤、気道確保のための器具を使用してより多くの傷病者の心拍再開をめざして活動します。心拍が再開したら病院ではより高度な集中治療が可能となります。AEDについては次回お話しします。



心臓マッサージ：胸の真ん中にある胸骨の下半分を手のひらで胸が5cm沈み込むように圧迫します。

◇前回の例会(8月28日)の報告

会 員 数	76 (73) 名
出 席 数	47 名
出 席 率	64.38 %

◇前々回の例会(8月14日)の訂正

出 席 率	(休会)
訂正出席数	
訂正出席率	

私と西ロータリー・クラブ

太原 春雄君

私が西クラブに入会させて頂いたのは1977年11月でした。

爾来36年もの長い歳月を過ごして参りましたが、何が私を西ロータリー・クラブに引き留めたのでしょうか。

入会当時のクラブメンバーの中には、現クラブ会員の父上たちが多数御健在で、櫻美四郎さん、藤安辰造さん、岩田太一さん、川畑正美さん、小山幸義さん達が現役バリバリの時代でした。

会員には、三角桂次郎、椋鳩十、鮫島志芽太、藤都喜工門、岩元紀彦、川村洋、佐伯延次郎、山下静雄、高井敏治等々錚々たる方達が沢山居られました。

クラブフォーラムで、ロータリーの永遠のテーマ『奉仕とは…』が繰り返し繰り返し議論されたことが強く印象に残っております。

中でも、当時、鹿大教授であられた山下静雄先生の学問的体系に基づく哲学的な論説は吾々に強い興味と影響力を与え、これが後に福田正臣先生の主導により創設された『学習会』につながっているのです。

優れた人生の先達たちの卓話は勿論のこと、先輩会員達のさりげない日常の会話や振る舞いに接する貴重な機会が数多くあり、これが私には得難い西クラブの魅力になったのだと思います。

有名な銘酒の酒蔵や、醤油、味噌などの醸造元の麹仕込み蔵には、長い年月を経て伝統の麹菌や、酵母菌が桶、樽は勿論のこと、壁や床、天井に確りと染みこんでおり、これが得難い名品を生み出す基になるのだと言うことを聞いております。

西ロータリー・クラブには50年を経て、歴代の素晴らしい先輩たちが残して下さったアカデミックな気風と雰囲気や延々と受け継がれているのだと思います。

一朝一夕では達成できない貴重な伝統が生きているのではないのでしょうか。

前回の例会記録(8月28日分)

〈プログラム〉

「私と西ロータリー・クラブ」 会員 太原 春雄君

〈幹事ゲスト〉 ㈱マルヒラ 代表取締役 平澤 正幸様

〈ビジター〉 なし

〈8月在籍表彰〉

40年 岩男 秀彦君 32年 村田 和雄君
25年 高山 義則君 18年 中村 英幸君

17年 南 徹君 16年 徳留 忠敬君
12年 内村 二郎君

〈会務報告〉

- 9月のロータリーレートのお知らせが届きました。
1ドル100円です(現行と同じ)
- 10月11日(金)～13日(日)宮崎で開催の地区大会の申し込みは9月20日(金)までです。
また、会員増強委員会からのお願い(会員候補・推薦の件)は9月13日(金)までにご返信ください。
- VTT職業研修チーム受入れについてのお願い
9月28日(金)～10月18日(土)受入れ中の10月13日(土)、14日(日)のホストファミリーを探しています。リーダーを含めて男性4名、女性1名です。
- 本日は米山ランチにご協力いただき、ありがとうございました。



長柄 英男君

今日は大先輩であり、医師会でもお世話になった太原先生の卓話です。健康と長寿を願ってニコニコします。

坂木 貞剛君

先週の3クラブ合同例会は抜けられない用事のため欠席いたしました。申し訳ありません。お詫びします。

小計 4,000円 累計 70,000円

次週予告

9月11日(水) 12:30～ 山形屋
会員卓話 岩男 秀彦君



小澤征爾、国際コンクールで優勝
(昭和34年9月)

パリで開催された世界的権威のあるプザンソン国際指揮者コンクールで24歳無名の小澤征爾がいきなり優勝した。小澤は卒業旅行で単身、スクーターでパリに到着、参加した。しかし、日本人がこの快挙に気づいたのは3年後。彼がニューヨーク・フィルハーモニックの副指揮者として凱旋帰国してからだ。

- 日石喜入基地発足(昭和44年9月12日)
- 太陽国体(夏季)が開幕(昭和47年9月17日)

市内RC例会プログラム

東RC 9月5日(木)	早朝例会のため平田公園清掃に変更	山形屋	中央RC 9月9日(月)	新世代フォーラムのため18:30～に変更	山形屋
北RC 9月5日(木)	会員卓話 山下 哲朗さん	レプラト 鹿児島	東南RC 9月10日(火)	フリートーク	サンロイヤル
サザンサイド RC 9月5日(木)	ゲスト卓話 地区新世代委員会 委員長 山田 忠茂様	東急イン	城西RC 9月10日(火)	会員卓話 嶋田 光邦君	東急イン
鹿RC 9月6日(金)	会員卓話 大吉 修郎会員 鹿児島RC奨学生卓話	山形屋	南RC 9月11日(水)	ゲスト卓話 小野原認証測量設計㈱ 小野原 斎臣様	サンロイヤル
			西南RC 9月11日(水)	フリートーキング	ゆうづき